

長岡ニュータウン運動公園（仮称）整備基本方針（案）

キーワードは「スポーツ」「レクリエーション」「健康」

長岡ニュータウン運動公園（仮称）整備のキーワードとして、「スポーツ」「レクリエーション」「健康」の3つがあげられる。競技スポーツだけに特化した施設ではなく、楽しむためのレクリエーションや健康維持のためのスポーツなどのニーズにも応えられる施設が求められる。

しかし、すべてのニーズに応えられることが望ましいが、その中で施設の質や量などの優先順位やどこに重点を置くのかが重要になる。

信濃川河川敷運動施設の移設を優先

平成16年、18年と洪水被害により、ほぼすべての施設が水没した信濃川河川敷運動施設は、その度に災害復旧工事が行われ、供用期間が大幅に減少した。

各施設とも面数が比較的多く大規模大会などに利用されるが、頻繁に洪水被害に遭うため、大規模大会に見合う施設整備を行うにはリスクが高い。

現在、「スポーツ（野球・サッカー・テニス）」「レクリエーション（ゲートボール・グラウンドゴルフ）」「健康（ウォーキングなど）」のすべてにおいて、比較的ニーズに応えられる施設であるため、洪水被害を受けない地域に同規模の施設を整備することが求められている。

長期的な整備方針の検討

整備予定地である 34.2ha の土地に新たに施設を整備する場合、一度にすべての施設整備を行うことは不可能であるため、段階を踏んだ施設整備が必要となる。

- 1期工事 需要や要望の強い施設の整備に加え、駐車場や園内道路、緑地等の整備を行う。
- 2期工事 1期工事終了後に、優先順位の高い施設を整備していく。
- 3期工事 早期実現が難しい施設を整備し運動公園が完成する。

このように、上記事項を踏まえた長期的な整備を視野に入れ、全体的な整備方針、整備スケジュールを検討する。